

**議員提出議案**  
**意見書(要旨)**  
 本定例会では意見書6件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

**新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常生活を守る取り組みの強化を求める意見書**

新型コロナウイルス感染症の罹患者の中で、疲労感・倦怠感などの罹患後遺症、いわゆる後遺症を訴える方が増えている。後遺症は社会生活上、非常に影響が大きく、例えば、子どもの場合は自分から症状を訴えることが難しいため、怠けていると捉えられてしまう恐れもある。

感染拡大から3年が経過し、この感染症への向き合い方も変わる中で、後遺症に悩み生活に大きな影響を受けている方々の治療等の確立などは重要課題である。よって、政府に対して3点にわたる積極的な取り組みの強化を求める。

**内閣総理大臣ほか5件宛て**  
**認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書**

認知症の人は約600万人を超え、高齢化率の上昇に伴い増加が見込まれ、将来を見据えての備えの拡充が求められている。よって政府において、特段の取り組みを強く求める。

①認知症サポーターの育成促進・身近な薬局や介護施設等への相談窓口の開設を支援すること、②薬や対処法等の研究開発体制を強化すること、③認知症の人と家族に寄り添

う制度を整備すること、④認知症のリスク低減につながる知識や情報を提供する体制を整備すること、⑤国と地域が一体となって「(仮称)認知症基本法」を整備すること。

**内閣総理大臣ほか4件宛て**  
**地域のグリーン・トランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書**

地域のGXで新しい経済成長を実現するため、次の事項に総力をあげて取り組むことを要請する。①省エネ効果の高い断熱窓への改修等住宅の省エネ化や太陽光発電と蓄電池を組み合わせた電力の自給自足への支援の強化②蓄電池の大容量化・低コスト化や余剰電気を水素で蓄えること等を可能とする研究開発の加速③熱需要の脱炭素化、熱の有効利用に向けた設備等の導入促進④太陽光パネルの大量廃棄に備えた制度的措置の検討⑤電力の系統整備において資金調達等が可能となる環境整備やより効率的な送電システムの技術開発の強化。

**内閣総理大臣ほか6件宛て**  
**アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書**

現在、アスベストの健康被害が生じた場合は、「労災保険制度」による補償や、石綿健康被害救済法や建設アスベスト救済制度による給付金等が支給されている。しかし、アスベストによる健康被害は今も増え続けており、一日も早い治療法の確立が求められている。また今後は、アスベスト建材の使用ピークから約50年が経過し、建築物の解体もピークとなる。

そこで政府においては、今

後のアスベストによる健康被害者の治療法の日も早い確立と、アスベスト被害の発生防止に向け、全力で取り組むことを強く求める。

**内閣総理大臣ほか6件宛て**  
**「LGBT理解増進法案」に差別禁止規定を求める意見書**

性的指向や性自認を含むあらゆる差別を禁止することは、いまや各国の義務となっており、世界50カ国以上で差別が禁止されている。政府は2011年と2014年に性的指向、性自認に関する国連人権理事会の決議に賛同しており、都は2018年にLGBT等への差別を禁止する「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」を制定した。

**内閣総理大臣ほか4件宛て**  
**加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求める意見書**

高齢化社会に伴い、耳が聞こえにくくなり仕事や社会生活に困る加齢性難聴者が増えている。しかし補聴器は平均価格1台15万円と言われ、保険適用ではなく全額自己負担のため、買うのを諦める人も多い。欧米では、補聴器購入への公的補助制度があり、日本でも補助を行う自治体が増えている。補聴器の普及は、高齢者が生活の質を落とさず心身とも健やかに過ごすことで、認知症予防や交通事故の防止、ひいては健康寿命の延

伸、医療費抑制にもつながる。よって、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を政府に求める。

**議員提出議案第1号**  
**町田市議会の個人情報保護に関する条例**

**議会運営委員会**  
**委員の交代**

**第17期町田市議会**  
**改革調査特別委員会**  
**委員の交代**

**社会福祉法人**  
**町田市社会福祉協議会**  
**評議員の交代**

**会派の動き**  
**自由民主党代表者の交代**

**会派脱退**  
**「まちだ市民クラブ」**

**会派結成**  
**「諸派」**

**民生費**

**総務費**

**衛生費**

**特別会計**

**令和4年度(2022年度)3月補正 会計別予算構成表**

**可決した主な議案の内容**  
**第19号議案 町田市避難行動要支援者の名簿情報の提供に関する条例**

**第22号議案 町田市子ども発達センター条例の一部を改正する条例**

**「議会改革度調査」で13年連続、都内1位**

**第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催**

**衛生費**

**民生費**

**特別会計**

**令和4年度(2022年度)3月補正 会計別予算構成表**

関係する規定を整備するため、所要の改正をするものです。

災害対策基本法の規定に基づき、避難支援等関係者に対する避難行動要支援者の名簿情報の提供に関し、必要な事項を定めるため、制定するものです。

鶴川駅の自由通路整備に併せて、改札口等の駅機能を移設するため、小田急電鉄株式会社と施行協定を締結するものです。

2月6日、28日、4月19日に開催され、次の付議事項について審査が行われました。

付議事項

①議員の調査活動等に関する事項

②議会の権能・機能強化に関する事項

③議会の情報提供に関する事項

の調査・検討

53万1千円、保育・幼稚園費の民間保育所運営費：3億1507万2千円。

保健予防費の母子保健指導事業費：5億5017万7千円。

一般会計と特別会計を合わせた3月補正額は△16億185万7千円となります。

度調査2022で、町田市議会は、13年連続東京都1位にランクアップされました。

早稲田大学マニフェスト研究所の報告書によると、53項目の調査を行った結果、全国で情報共有1位、住民参画8位、議会機能強化169位となり、総合で23位にランクアップされました。

2月6日、28日、4月19日に開催され、次の付議事項について審査が行われました。

付議事項

①議員の調査活動等に関する事項

②議会の権能・機能強化に関する事項

③議会の情報提供に関する事項

の調査・検討

53万1千円、保育・幼稚園費の民間保育所運営費：3億1507万2千円。

保健予防費の母子保健指導事業費：5億5017万7千円。

一般会計と特別会計を合わせた3月補正額は△16億185万7千円となります。

一般会計と特別会計を合わせた3月補正額は△16億185万7千円となります。

目の不自由な方のために、点字と声(カセットテープ版、デージー版)の「町田市議会だより」を発行しています。

ご希望の方は、議会事務局調査法制係(☎042-724-4049)までお申し込みください。

◎3月定例会の日程

2月6日、28日、4月19日に開催され、次の付議事項について審査が行われました。

付議事項

①議員の調査活動等に関する事項

②議会の権能・機能強化に関する事項

③議会の情報提供に関する事項

の調査・検討

53万1千円、保育・幼稚園費の民間保育所運営費：3億1507万2千円。

保健予防費の母子保健指導事業費：5億5017万7千円。

一般会計と特別会計を合わせた3月補正額は△16億185万7千円となります。